

経営比較分析表（平成28年度決算）

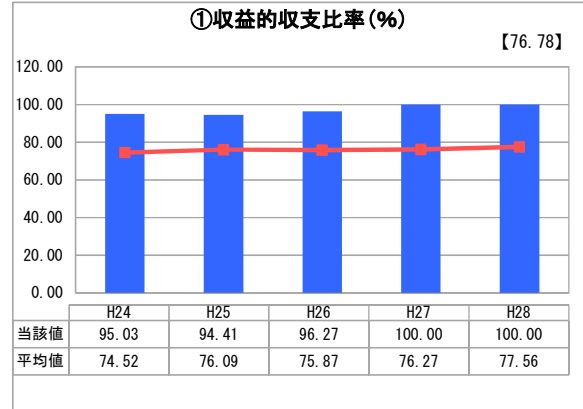
鳥取県 智頭町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	27.91	1,630	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,398	224.70	32.92
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,054	1.90	1,081.05

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



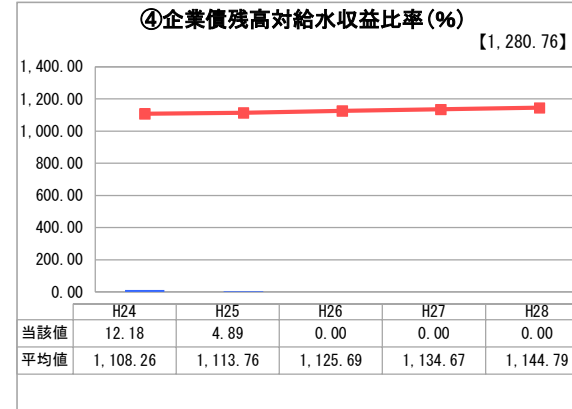
「単年度の収支」



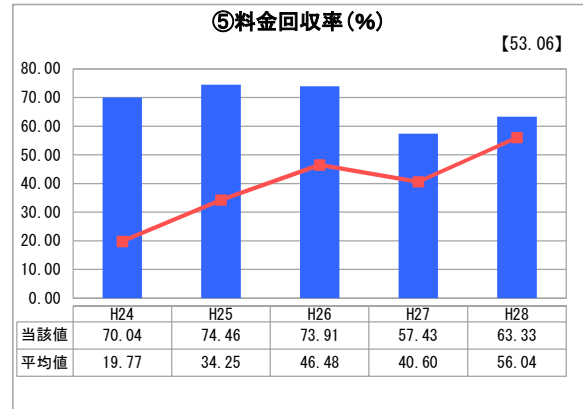
「累積欠損」



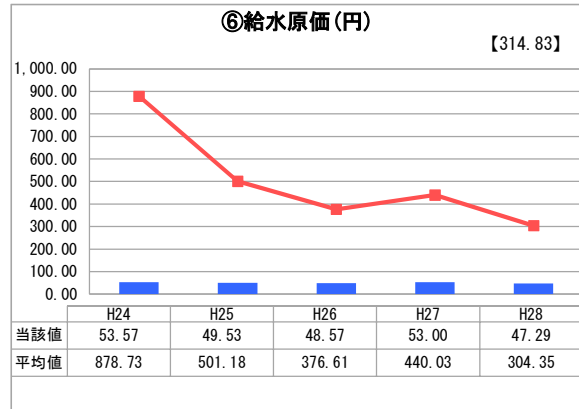
「支払能力」



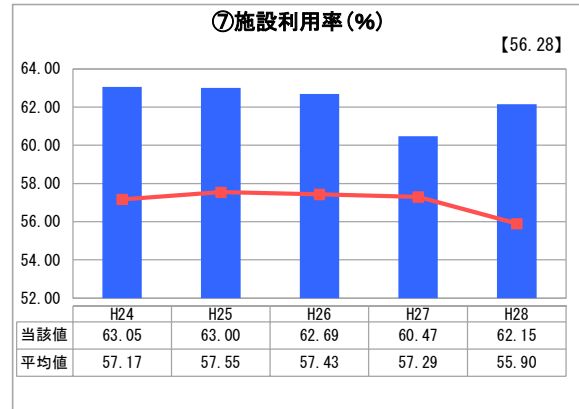
「債務残高」



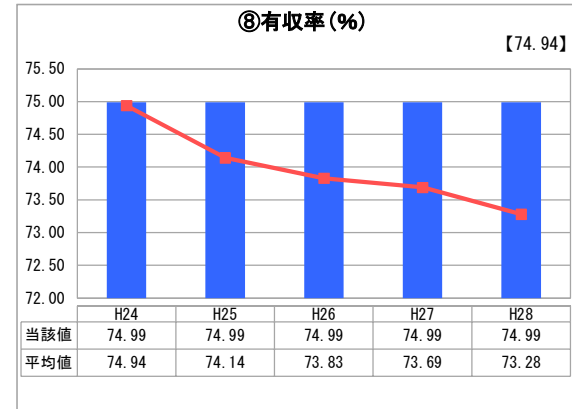
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

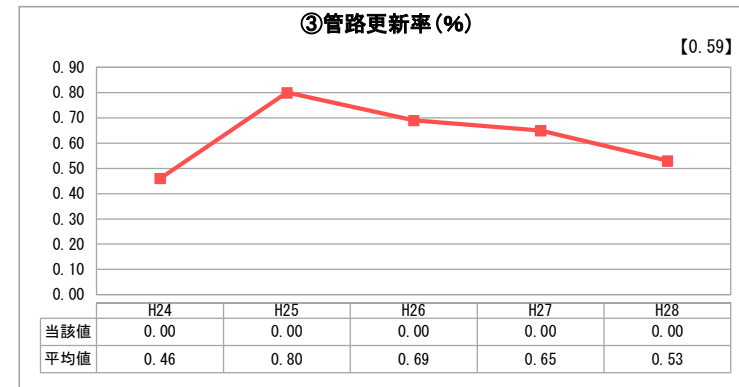
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は類似他団体と比較して、例年安定して高水準にあり、企業債の償還もH26年度で終了し、累積欠損金もない。
また、料金回収率も高水準であり、給水原価も非常に安価であるが、有収率については施設の老朽化もあり、改善すべき事項であると考えている。
今後も、健全性・効率性を維持していきたい。

2. 老朽化の状況について

施設の老朽化は、避けられない課題であり、財政を十分に考慮して、更新を計画していきたい。

全体総括

全体的に類似団体平均より値としては良い傾向にある。今後も適切な施設の維持管理に努めていきたい。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。